

ボクシング	
(最終日、西宮香風高)	
△ピット級決勝	小田切(相生学院)
△バンタム級決勝	定村(西宮香風)
△ライトフライ級決勝	大峰(西宮香風)
△フライ級決勝	大(西宮香風)
△ヘビー級決勝	中(須磨東)
△ミドル級優勝	井(須磨東)
(飾磨工) 1分53秒	金谷海秀(相生学院②)
△団体順位	西宮香風③神戸朝鮮高(相生学院①)
△最優秀選手賞	金沢真明(西宮香風)
△技能賞	鄭敬蒜(神戸朝鮮高)
△敢闘賞	山内祐季(相生学院)

県高校総体27日の成績

昨年は団体で初優勝を飾ったものの、個人の優勝はなく、全国総体では一人も出場できなかつた。中でも山内は昨年の決勝で、後の全国王者に惜敗。「負けてから何が足りないか考えてきた」という。この日は鋭い踏み込みからスピードを増した左ストレートや右フ

イトフライ級の林、バントム級の山内は同校初の全国総体出場。副主将を務める山内は「素直にうれしい。全員、気持ちが前に出ていた」と満面に笑みを浮かべた。

相生学院勢が3階級V

ボクシング

ツクを的確にヒットし、ポイントを稼いだ。

26日に3連覇を飾った男子団体など、テニスの強豪として知られる相生

学院。山内は「ボクシングも強いところを見せたい。個人で優勝を狙いたい」と決意を述べた。(小林隆志)



バンタム級で頂点に立った山内祐季=西宮香風高